

## ○沖縄地方の地震活動

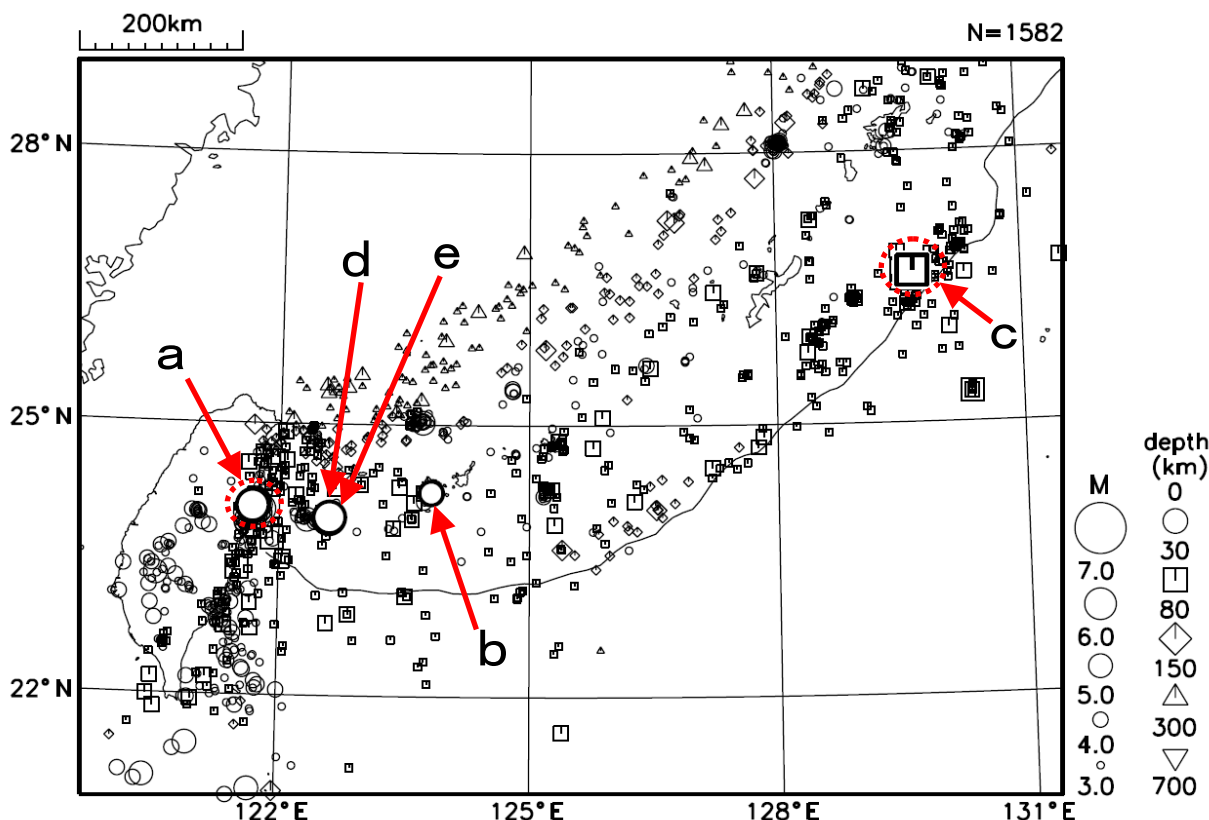


図 10 沖縄地方の震央分布図 (2018年1月1日~12月31日、M $\geq$ 3.0)

### [概況]

2018年に沖縄地方で震度4以上を観測した地震は1回(2017年はなし)であった。2018年中の主な活動は次のとおりである。

2月4日から2月中旬にかけて、台湾付近(図10中の領域a)で地震活動が活発になり、4日22時56分に台湾付近の深さ10kmでM6.5の地震(日本国内で最大震度2)、7日00時50分に深さ10kmでM6.7の地震(日本国内で最大震度2)が発生した。

3月1日22時42分に西表島付近の深さ15kmでM5.6の地震(図10中のb)が発生し、沖縄県竹富町(西表島)で最大震度5弱を観測したほか、宮古島から与那国島にかけて震度4~1を観測した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。その後、地震活動が活発となり、3月31日までに震度1以上を観測した地震が、40回発生した。

9月15日から沖縄本島近海(図10中の領域c)で地震活動が活発になり、15日17時05分に最大規模のM6.2の地震(最大震度1)、16日01時24分にM6.0の地震(最大震度2)が発生するなど、9月30日までに震度1以上を観測する地震が6回発生した。

10月23日13時34分に与那国島近海の深さ26kmでM6.1の地震(図10中のd)が発生し、沖縄県与那国町で最大震度3を観測したほか、多良間島から与那国島にかけて震度2~1を観測した。この地震の震央付近では、24日01時04分にM6.3の地震(図10中のe)が発生し、与那国町で最大震度3を観測したほか、宮古島から与那国島にかけて震度2~1を観測した。